



Fog Storage[®]

分散ファイルストレージサービス with Cisco UCS

スケールアウトNASをソフトウェアで実現

Cisco UCS Compatibility取得 リファレンスアーキテクチャーを用いて 簡単・迅速な導入を実現



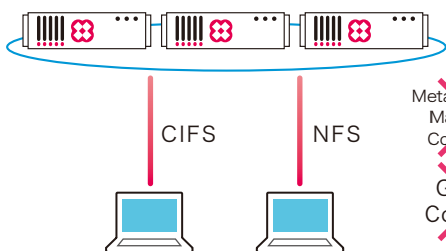
- Cisco UCSをエンタープライズストレージとして即時利用可能
- Cisco UCS ManagerとIzumoFS (FogStorageサービス)により、サーバー、ネットワーク、ストレージの統合管理を実現し、運用コストを大幅に圧縮
- UCSサービスプロファイルとIzumoFS (FogStorageサービス)リプレイス機能を組み合わせることで、極めて容易にハードウェアの世代交代が可能。"データ移行作業"を運用から排除。広域Active-Active利用をサポートし、最小3台のsmallスタートからDR構成が可能
- 共有フォルダー単位にレプリケーション(3コピー)と秘密分散保存、保存形式を選択可能

■ UCS DirectorによるFogstorageサービス運用

- 構築時 IzumoFSのインストールを含む、構築の自動化
- 運用時 クラスターの拡張と縮退(ノード追加/削除)
ユーザー領域管理(共有フォルダー追加/削除)
障害ノードの修復(ノードリプレイス)
モニタリング(容量/IOPS/スループット)
スナップショット
障害通知
ユーザー認証管理(AD連携)

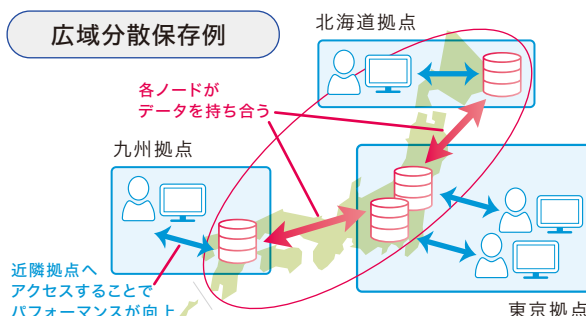


特別なGWを介さずプロトコル利用



~~Meta data Server~~
~~Master Node~~
~~Control Node~~
~~Gateway~~
~~Connector~~

広域分散保存例



Why ユニアデックス?

- IzumoBASEおよびシスコシステムズ両社とのパートナーシップを持ち、ノウハウを活かした**最適構成を提案**
- サービスデスクが24時間サポート、**運用サービスと障害対応をワンストップで提供**
- 利用状況・傾向に基づき**継続的な改善提案を実施**

構成例

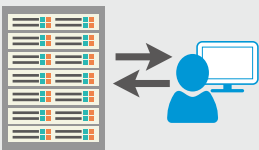
| | Small-Start | Performance |
|--------|--|---|
| Model | Cisco UCS C240M5SX x3 | Cisco UCS C240M5SX x3 |
| CPU | Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1 | Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1 |
| Memory | 64GB | 128GB |
| Media | 600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 400GB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 1.2TB 10krpm SAS x8 (ブロックデータ:RAID5) | 600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 800GB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 900GB 15krpm SAS x22(ブロックデータ:RAID5) |
| NW | 10GbE x2 | 10GbE x2 |
| 実効容量※ | 7TB | 16TB |
| | Mid-Range | Archive |
| Model | Cisco UCS C240M5SX x3 | Cisco UCS C240M5SX x3 |
| CPU | Intel Xeon Gold 6128 3.4GHz x1 | Intel Xeon Gold 5122 3.6GHz x1 |
| Memory | 64GB | 32GB |
| Media | 600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 1.6TB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 1.8TB 10krpm SAS x22 (ブロックデータ:RAID5) | 600GB 10krpm SAS x2 (OS:RAID1) 1.6TB SSD x2 (メタデータ:RAID1) 2TB 7.2krpm SAS x22 (ブロックデータ:RAID5) |
| NW | 10GbE x2 | 10GbE x2 |
| 実効容量※ | 32TB | 36TB |

※3ノード構成で冗長化方式にレプリケーションを用いた場合

補足:SDSとは?

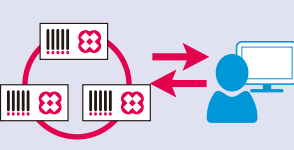
SDS (Software-Defined Storage) は、IAサーバー上で稼働するストレージ仮想化アプリケーションです。複数のIAサーバーを束ね、仮想的に一つのストレージプールを作成します。従来型のハードウェアベースストレージに比較して可用性や拡張性が高く、GoogleやAmazon等のクラウドサービスを支える技術として注目されたことをきっかけに、幅広い分野で応用が進んでいます。

●SDSを利用していない場合



- 筐体故障時にはサービス停止
- 容量の増強はサービス停止や拡張のための作業が発生
- 性能の増強はアーキテクチャー上難しい
- 運用には専門知識を持ったストレージ管理者が必要

●SDSを利用している場合



- 筐体故障時にも他のノードでサービス継続可能
- ノードを追加することで、容量と性能を容易にスケールアウト
- 一般的なLinux知識で運用可能なため、サーバー管理者がストレージまで一元管理可能



ユニアデックス株式会社 UNIADDEX, Ltd.

東京都江東区豊洲1-1-1 135-8560
TEL 03-5546-4900 (大代表)
URL <https://www.uniadex.co.jp/>

Headquarters: 1-1-1 Toyosu, Koto-ku, Tokyo 135-8560, Japan
Telephone: +81(3)5546-4900
URL: <https://www.uniadex.co.jp/>

Copyright© 2018 UNIADDEX, Ltd. All rights reserved.

関西支店 TEL06-7178-0211 中部支店 TEL052-204-6850 九州支店 TEL092-473-3003
北海道営業所 TEL011-558-1900 東北営業所 TEL022-261-9217 新潟営業所 TEL025-247-7600
首都圏営業所 TEL048-642-5950 静岡営業所 TEL054-272-4722 長野営業所 TEL026-238-7502
北陸営業所 TEL076-233-9850 中国営業所 TEL082-242-5088 四国営業所 TEL087-821-1511

※記載の会社名・商品名は、各社の登録商標または商標です。
※記載の内容は、予告なく変更することがあります。